

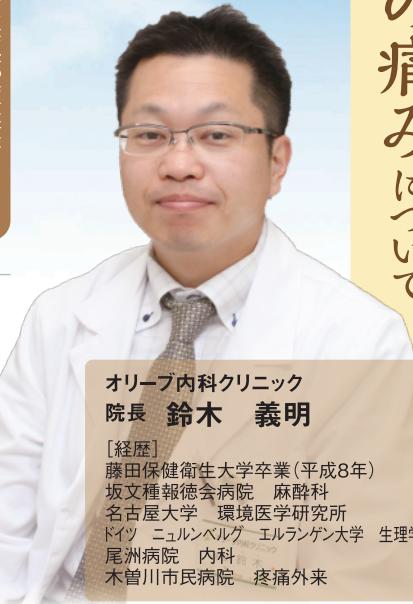
# オリーブ内科クリニック 鈴木院長に聞く

volume 9

## 外傷性頸部症候群の痛みについて

オリーブ内科クリニック  
院長 鈴木 義明

【経歴】  
藤田保健衛生大学卒業(平成8年)  
坂文種報徳会病院 麻酔科  
名古屋大学 環境医学研究所  
ドイツ ニュルンベルク エルランゲン大学 生理学  
尾洲病院 内科  
木曽川市民病院 痛み外来



### 外傷性頸部症候群とは

Q 今日は外傷性頸部症候群について教えて頂きます。あまり聞きたくない言葉ですが、どういった病気なのでしょうか?

A 交通事故やスポーツ外傷などにおいて頭頸部が衝撃的な振れ方をすることで、頸椎の韌帯、椎間関節、頸部の筋肉神経、軟部組織などに過度な進展や大きな負荷がかかるためにはじまる障害です。

Q どんな症状がでますか? 頭痛、嘔気、首筋や背中のコリ等、多くは受傷直後より出します。しかし、レントゲン、CT、MRI検査を行っても、症状に一致した異常が画像上で認められないことがあります。また、受傷当日は精神的に緊張していることもあります。

A Q 今日は外傷性頸部症候群について教えて頂きます。あまり聞きたくない言葉ですが、どういった病気なのでしょうか? 交通事故やスポーツ外傷などにおいて頭頸部が衝撃的な振れ方をすることで、頸椎の韌帯、椎間関節、頸部の筋肉神経、軟部組織などに過度な進展や大きな負荷がかかるためにはじまる障害です。

Q 今回の病気に至る流れを教えてください。  
A この病気に至る流れを教えてください。  
Q この病気の原因を教えてください。  
A 自動車に乗っていて追突されると座席は前方に動きます。頭部が取り残され、頸椎の過伸展が起ります。頸部の前側の筋である胸鎖乳突筋、斜角筋、頸長筋が引き伸ばされ、筋線維が障害され出血や浮腫が生じます。頸部の過伸展の反動で過屈曲が起こり、頸椎の韌帯、椎間版、椎間関節、神経根等がダメージを受けやすくなります。また、時に脊髄神経が存在する髄

に気付かず、12時間以上遅れて出現することもあります。

Q もしそうなってしまった場合の治療法を教えてください。

A 骨折や脱臼がなければ、保存的治療が基本です。受傷~3週は、鎮痛薬の内服や冷湿布などで安静にします。頭痛、めまい、吐き気などの症状がある場合は、対症療法を行つ安静臥床を保ちますが、筋力低下や関節拘縮を生じることもあり注意が必要です。約3週以降は、温熱療法や牽引療法が良く行われています。ストレッチを行い、血行改善と柔軟性の回復を目指します。理学療法を行う際の筋肉の耐久性の低下を改善

◆血管系への影響  
めまい、聴覚異常、視覚異常、平衡感覚異常、意識障害

◆頸部交感神経への影響  
流涙、めまい、耳鳴り、顔面紅潮、発汗異常

◆脳脊髄液減少の影響  
起立性頭痛、めまい、多めの水分摂取で軽減される頭痛

◆頸部への影響  
めまい、聴覚異常、視覚異常、平衡感覚異常、意識障害

障害された神経が支配する領域のしびれ、腕や手指の筋力低下

◆神経への影響  
頸部軟部組織への影響  
頸部の運動制限、肩こり、筋緊張性頭痛

腔の圧力が高くなると、クモ膜下腔から脳脊髄液が漏れ出すことがあります。

膜下腔から脳脊髄液が漏れ出すことがあります。

するため、等尺運動を行います。つまり自然な頭の位置で筋肉を収縮させ、首がしっかりと頭を支えられるように運動します。

### 低髄圧症候群について

Q 最後に低髄圧症候群について教えて下さい。

A 脳脊髄液が持続的ないし断続的に漏れ出することで脳脊髄液が減少し、頭痛、頸部痛、めまい、耳鳴り、だるさが出現します。原因として脳や脊髄を包む膜が、頭部の位置が変わることで、重力の影響により髄膜血管や神経が牽引されるためと考えられています。脳脊髄液の量は水分を多く摂取することや、点滴治療と安静臥床によって改善することができますが、鎮痛薬では効果が得られません。確定診断には画像診断が必要ですが、近年、CT脊髄造影が髄液漏出の検出に優れていると報告されています(CD脊髄造影)。治療法は、患者さん自身の血液を採取し、髄液の漏れているところに注入して、血液を固まらせ穴を塞ぐことです(ブラッドパチ療法)。



次回は、「非基質性疼痛」についてのお話しを伺います



オリーブ内科クリニック  
0587-21-1177

〒492-8145 稲沢市正明寺3丁目191  
olive-cl.com オリーブ内科 稲沢 検索

名鉄「小池南」バス停前

名鉄「小池南」バス停前



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
AM8:30~12:00	●	●	●	●	●	●	/
PM4:30~ 6:30	●	●	●	●	●	●	/

診療科目 内科 ペイン(痛み)内科 リハビリテーション